

WG概要

医療分野におけるICTの利活用は、各医療機関が用いる医療データ体系が標準化されていない等の要因から、諸外国に比べ立ち遅れている状況である。

そこで、まずは、国民が自らの健康医療情報をクラウド上にアップロード・保有・管理でき、健康・医療に関する各種サービスを楽しむことができる「健康・医療クラウド」を早期に実現し、PHR(Personal Health Record)を普及させることで健康・医療分野におけるICT利活用を拡大すべく、「健康・医療クラウド」の実現に向けた課題の整理や実現方策の検討を行う。

主な活動内容

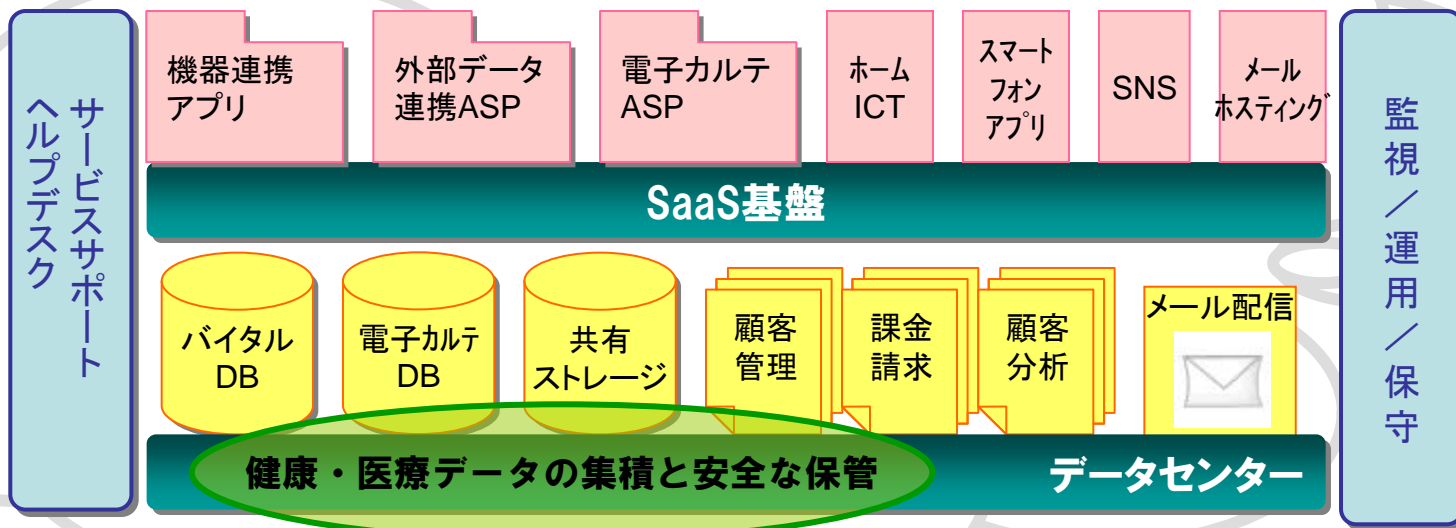
- ①「健康・医療クラウド」における技術面・制度面の課題整理及び関係者ヒアリング
- ②「健康・医療クラウド」実現に向けた諸検討（例：機器間インタフェースやデータフォーマットの標準化、セキュリティガイドラインの策定、共通IDによるサービス連携方法、等）
- ③検討結果に沿った「健康・医療クラウド」のプロトタイプ構築
- ④「健康・医療クラウド」を基盤とするビジネスモデルの評価（必要に応じてフィールドトライアルを実施）

健康・医療クラウド 全体イメージ図



健康・医療ASPによるサービス提供

健康・医療クラウド



通信の標準化

フォーマットの標準化

家庭

健保

健診データ

調剤薬局

投薬データ

健康・医療クラウド 利用イメージ



健診データからフィットネスクラブに加入 健診をきっかけにメタボ解消を効果的に促進

健康診断アプリにより「メタボリック」と判断。

クラウド上で連携しているフィットネスクラブに誘導

共通IDによりフィットネスクラブにデータを転送

健診データをベースに個人プログラムを生成



ヘルスケアポイントでマーケットを活性化 各事業がポイント連携し個人の健康的な生活を促進

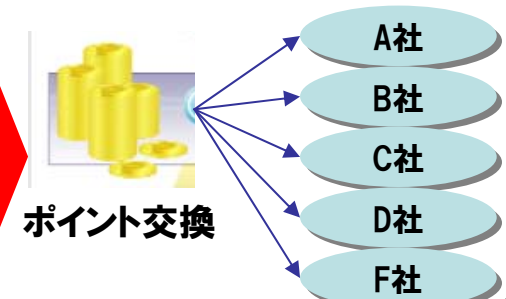
クラウド上で連携している事業者がポイント連携

健康診断・調剤薬局・ジムの利用履歴でポイント付与

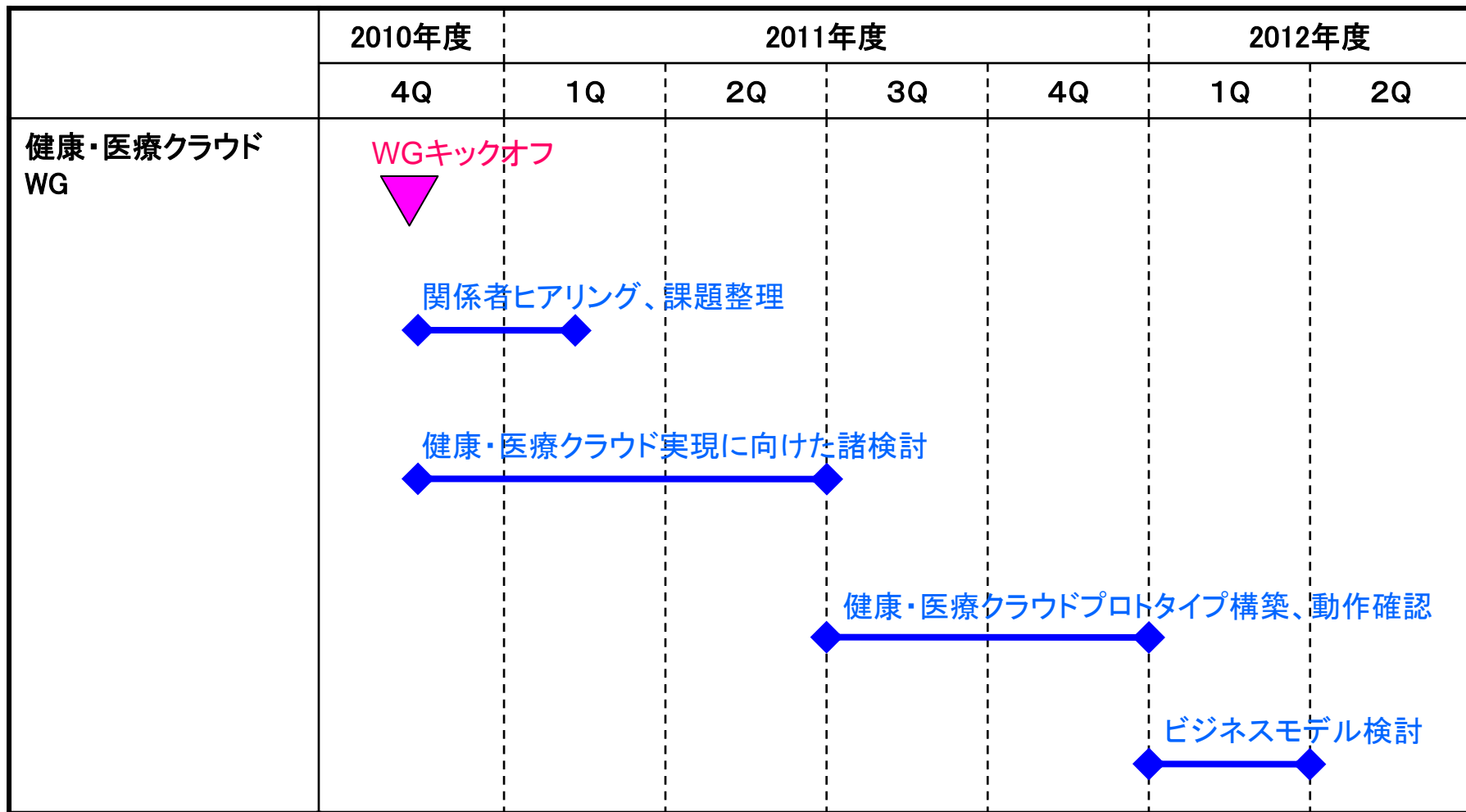
ユーザーがポイント利用で相互の会員還流

ヘルスケア業界を活性化

- 健診利用
- フィットネス利用
- ヘルスケア機器購入



活動スケジュール案



構成メンバー

- 学識経験者
- 医療機関、介護機関
- 通信事業者、医療機器メーカー、測定器メーカー、通信機器メーカーなど
- それぞれ数社、全体で20社以内

参加条件

- ジャパン・クラウド・コンソーシアムの会員であり、健康・医療データのクラウドへの蓄積、蓄積データを活用した健康・医療サービスの提供等に関心が高く、それぞれの立場から積極的に情報提供や議論が可能な方。

WGの内容に関する連絡先

KDDI株式会社 ネットワーク技術本部 技術戦略部 古川

電話：03-6678-0744

E-mail：hi-furukawa/atmark/kddi.com

注：上記連絡先は本WGの活動・検討内容に関する問合せにのみ対応しています。本WGへの参加申込みはJCC事務局が窓口となり、2011年1月下旬より受け付けますので、今しばらくお待ち下さい。

注：迷惑メール対策のため、「@」を「/atmark/」と表示しております。送信の際には、「/atmark/」を「@」に置き換えてください。